



民間教育最高功労賞



坂田 義勝 氏

英進学院代表
私塾協同組合連合会理事長
埼玉県私塾協同組合理事長



民間教育最高功労賞



尾村 芙久子 氏

学研新伊丹キャンパス教室
学研新伊丹ありおかキャンパス教室指導者



●略歴
1949年、福岡県生まれ。78年、埼玉県川越市に「英進学院」を創立。2004年埼玉県私塾協同組合理事長に就任。全日本学習塾連合会理事長幹事、学習塾団体合同会議副代表幹事、(二財)彩の国総合教育研究所評議員等を歴任。塾の歴史を網羅した



●略歴
1947年、兵庫県神戸市生まれ。90年、伊丹市に「学研教室」を開室。学研教室の理念「子どもたちに学ぶ喜び・自信・生きる力を」に基づき、35年間乳幼児から高校生まで一人ひとりの可能性を伸ばし、自立した子どもを地域へ送り出してきた。将来を担う子どもたちの力を最大限に伸ばす指導に尽力している。現在2教室を運営。

私は塾を始めて47年目になり、埼玉県私塾協同組合の理事長職を務めてちょうど20年、私塾協同組合連合会、今は関東圏だけでやってありますが、その理事長に就任して

受賞のご感想

『学習塾百年の歴史・塾団体五十年史』の刊行にも尽力。

●授賞理由

埼玉地域の小中高校生の学力の向上に寄与するとともに、私塾協同組合の活動を通じて全国の民間教育の発展に寄与した功績



受賞のご感想

た場で表彰されることに感謝しております。

先ほど森貞孝先生が挨拶されましたが、森先生は90歳間近であるにもかかわらず、頭脳は非常に明晰です。私もいつも森先生を見習わなければと思っています。私も命の続く限り、現場でしっかり生徒を見な

17年になります。地道にコツコツとやってきました。自塾の仕事は3割、団体の仕事は7割というアンバランスな形で、家内に苦労をかけてながら、46年間やってきました。こういった

●授賞理由
兵庫県東部を中心とする地域の乳幼児から高校生までの指導を通じて民間教育の発展に寄与した功績

●授賞理由
今日は錚々たる先生方とともに、民間教育最高功労賞を受賞できましたことを本当に光栄に存じております。



受賞のご感想

たように思います。一方私は、フワフワしていて、父にとってはいつも心配の種であったようです。けれども、学研教室の仕事をすると伝えると、父は「とてもいい仕事だから頑張れよ」と言ってくれました。父が初めて私のすることを肯定し、認めてくれたように感じました。それから数十年、この仕事を続けていく中で、ずっと心の奥底に父の言葉があり、私を支えてくれたと感じております。その父ももちろん亡くなっておりますが、この受賞を報告できますこと



が、教育に携わっていきたくております。本日は誠にありがとうございます。

を本当に嬉しく思います。これからも、地域のお子さまたち、保護者のために、出来る限り力を尽くしていく所存です。



3月28日(金)、東京都千代田区の如水会館において、「日本民間教育大賞 授賞式・記念講演会・祝賀会」が開催され、全国から教育関係者が集い盛大に行われた。

日本民間教育大賞は、75歳以上を対象とする「民間教育最高功労賞」と没後10年以内の故人を対象とする「民間教育特別功労賞」の2部門で構成されている。本年度は、2024年11月から2025年1月までの間公募を行い、推薦された方々を対象に8つの団体から構成される選定会議において厳正な審査を行った結果、民間教育最高功労賞に5名、民間教育特別功労賞に1名が選出された。

式典は、(株)スプリックス 常石博之代表取締役社長による「これからの民間教育」をテーマにした記念講演から始まった。スプリックスグループは全国に700教室を展開し、従業員数約1,500名で20万人以上の子どもたちの学ぶ力を育成している。「教育×テクノロジーの未来」「学習塾経営の成功戦略」「国際的視点から見た教育の課題と可能性」という、学習塾関係者の多くが知りたいと思う3点を柱に、示唆に富んだ講演を繰り広げた。

授賞式の冒頭は、この1年にお亡くなりになった民間教育関係者のご貢献に感謝するとともにご冥福を祈って参加者全員で1分間の黙祷を捧げた。その後、選定委員を代表して全国学習塾協同組合 森貞孝理事長が開会の挨拶。

「今日は本当におめでとうございます。これからの時代は塾経営がなかなか難しい時代かもしれないし、逆にいくらかでも多様化ができる時代だとも思います。あと5年もすれば、今まで考えられなかったすごい塾が現れているのではないかと思います」と述べ、授賞式へと移っていった。

「民間教育功労賞」受賞者は、学研新伊丹キャンパス教室・学研新伊丹ありおかキャンパス教室指導者 尾村芙久子先生、英進学院代表 私塾協同組合連合会理事長 埼玉県私塾協同組合理事長 坂田義勝先生、作家 全国学習塾協同組合副理事長 (一社) 未来を創る新教育推進会副理事長 高嶋哲夫先生、心水塾会長 庭前美佐子先生、(株)やる気スイッチグループ創設者 松田正男先生の5名。「民間教育特別功労賞」は、さなるグループ創業者 佐藤イサク先生が受賞され、さなるグループを代表して山中玲子専務取締役様に贈呈された。NPO 法人学習塾全国連合協議会 全国会長 内藤潤司氏が表彰状を、私塾協同組合連合会 理事長代行 戸田敦子氏が表彰楯を贈呈した。大島九州男 参議院議員、下村博文 文部科学大臣もお祝いにかけつけ、祝辞を述べた。全日本私塾教育ネットワーク理事長代行 仲野十和田氏が閉会の挨拶をし、授賞式は幕を閉じた。

祝賀会は、選定会議を代表して民間教育連盟 森本一会長の挨拶で始まり、多くの参加者から祝辞が述べられ、花束贈呈、三本締めへと進み、(一社)日本青少年育成協会会長 (株)ティエラコム代表取締役社長 増澤空氏の挨拶で閉会した。



ダイジェスト版



第1部



第2部



第3部

日本民間教育大賞 ダイジェスト版動画は上記 QR コードからご覧いただけます。●映像協力 ●(株)フレックス design office[mooov]

日本民間教育大賞選定会議

(構成団体・団体名50音順)

- ・一般社団法人 日本青少年育成協会
- ・学習塾公開企業協議会
- ・公益社団法人 全国学習塾協会
- ・私塾協同組合連合会
- ・全国学習塾協同組合
- ・全日本私塾教育ネットワーク
- ・特定非営利活動法人 学習塾全国連合協議会
- ・民間教育連盟

顧問 大島九州男 参議院議員
顧問 下村博文 文部科学大臣

民間教育特別功労賞



佐藤 伊サク氏
さなるグループ 創業者

民間教育最高功労賞



松田 正男氏
（株）やる気アップ・ツチグループ 創設者

民間教育最高功労賞



庭前 美佐子氏
心水塾会長

民間教育最高功労賞



高嶋 哲夫氏
作家
全国学習塾協同組合副理事長
（社）未来を創る新教育推進会副理事長



●略歴●
1949年、長野県生まれ。父・英夫氏創業の「サトウ塾」を引き継ぎ73年、静岡県浜松市に「佐鳴塾」設立。76年に「佐鳴学院」2001年に「佐鳴予備校」に改称。さなるグループとして1都12県に校舎を構え、生徒総数は6万超。塾業界全体の発展を促し優れた後進を育成するために（社）全国教育指導者育成協会を設立。24年没。

●授賞理由●
全国最大級の学習塾「さなるグループ」を創設し、全国の小中高校生たちの学力向上に貢献するとともに、塾業界の地位向上に寄与した功績

受賞のご感想

山中 玲子氏
さなるグループ 専務取締役



今日は、特別功労賞という栄えある賞をいただきましたこと、心から御礼申し上げます。本人もそれほど天上から皆様にお礼を申し上げていることと思います。

●授賞理由●
全国最大級の学習塾「さなるグループ」を創設し、全国の小中高校生たちの学力向上に貢献するとともに、塾業界の地位向上に寄与した功績



●略歴●
1948年、千葉県生まれ。73年「松田英語塾」、78年「君津進学塾」を開校。89年、（株）拓人を設立、個別指導塾を開校し「スクールE」の基盤を築く。以後、個別指導塾をはじめ幼児教育、英会話、キッズスポーツなどのさまざまな事業を展開。2018年からはやる気アップ・ツチグループホールディングスの取締役会長を務め19年12月に退任。



●授賞理由●
集団指導が主流であった塾業界に新形態の個別指導を導入し、全国の民間教育の発展に寄与した功績

受賞のご感想



私は生徒の成績を上げるというよりも、その一人ひとりをいかに輝かせるかをずっと考えてきました。たしかに自分が教えて生徒の成績を上げ、生徒や保護者から「ありがとうござい」ます」と言われるのは嬉しいですが、それよりも、生徒本人が「自分で頑張った

から合格できた」と言われた方が、生徒自身のためになるし、自信も付くだろうと考えました。では、どうすればやる気を引き出すことができるのか？ やる気を作る要素がいくつかあり、「健康であること」「きちんとした生活習慣が身に付いていること」「人間関係」など、それらを伸ばしていくために「やる気診断テスト」を作りました。また性格も見えて、一人ひとりの生徒に対してどこに力を入れていけばやる気を伸ばすことができるか、というのが見えてきます。成績も「どこ



●略歴●
1944年、愛知県生まれ。66年、夫君・勝行氏とともに群馬県前橋市に六畳間の学習塾「心水塾」創設。勝行氏が40歳で他界したのち理事長職に就任。企業理念の「熟意と奉仕」のもと数十年に渡り、子どもたちに「水」のように柔軟で、何事にもとらわれない「心」の広い人間になつてほしいという願いを込めて同塾を運営してきた。

●授賞理由●
小中高校生の学習指導を通じて、群馬県前橋市、伊勢崎市を中心とする地域一帯の民間教育の発展に寄与した功績

受賞のご感想



本日はこのような晴れやかな場に呼んでいただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。1966年より丸59年、群馬県で小中高の学習塾を経営してまいりました。思い起こせば、日本中がまだ貧しい中、できるだけ安価な月謝で、誰もが通える学習塾をつ

くろうと、夫と2人で希望に燃えて始めたのも、つい昨日のことのようです。16年経ったとき、夫が癌になり、幼い子ども3人を残してこの世を去りました。教え子に大変惜しまれながらのお別れでした。夫の遺志を継ぐべく、残された社員と手と手を取り合つて頑張りました。おかげで自分の子どもも心水塾で育てあげることができましたし、「心水塾に行く」と成績を上げて志望校に入れてくれる」という絶大な信用をいただくことで、多くの素晴らしい生徒たちを社会に輩出することができました。



●略歴●
1949年、岡山県生まれ。75年、慶應義塾大学大学院を修了し日本原子力研究所研究員。77年、カリフォルニア大学ロサンゼルス校留学。81年に帰国し翌年神戸市で学習塾開業。「帰国」での北日本文学賞（90年）を始め幾多の文学賞を受賞。「ダーティ・ユー」「風をつかまえて」など教育関係の著書も多数。2011年、神戸市文化賞受賞。



●授賞理由●
著作活動に携わったかわら、全国学習塾協同組合などの活動を通じて、全国の民間教育の発展に寄与した功績

受賞のご感想



本日は本当にありがとうございます。私が学習塾を始めたのは40年ほど前にアメリカから帰ってきてからです。アメリカには土曜教室というのがある、1週間に1回、日本語で文科省が関わって1日で1週間分の授業を行います。

そこで3年間働いていました。日本に帰って来たとき、本を2冊書きました。1冊は、「アメリカの学校生活」、もう1冊は「カリフォルニアのあかちゃん」。これはすでに絶版になっていますが、すごくいい本なので、ぜひとも読んでほしいと思います。おそらく今の日本に一番必要な本ではないかと思えます。なぜ日本経済がこれだけガタガタになっているのか、そのヒントを与えてくれる。本だと思っています。

